

☑ 平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 ☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	健康づくり対策事業費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	4	項	1	目	3	事業	1
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課	担当係	健康増進	係	作成者	染谷早苗	内線(電話番号)	23-3111	シート作成日	H30.11.12	部長決裁日	H30.11.15		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 健康プランじょうそう(健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健計画))		根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 第3次健康いばらき21プラン・茨城県食育推進計画(第三次)・茨城県歯科保健計画) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的 ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	「健康プランじょうそう」の中間評価では、市民へのアンケートの結果、約6割の項目について目標を達成することができなかった。生活の質を高め、健康寿命を延ばすためには、市民一人ひとりが健康についての正しい知識を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康増進施策の充実を図る必要がある。	誰・何を対象に	市民	望ましい状態	健康増進計画「健康プランじょうそう」の基本理念である、すべての市民が、健やかでこころ豊かに生活できる常総市。
現状課題		どのような方法・手順で	市民の健康づくりを推進するための施策を協議する健康づくり推進協議会を開催。また、県医師会の生活習慣病予防対策推進事業費の一部負担、食生活改善推進員協議会へ補助金を交付し、講演会や食育推進事業を実施する。	望ましい状態	

3 事務事業の主たる成果指標 ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	とても健康、まあ健康と思っている人の割合	単位	%	目標値	80	目標年次	平成 34 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	市民自ら健康と思えることは、健康づくりにおける意識と行動変容を促した結果につながる。
-----	----------------------	----	---	-----	----	------	----------	-------------------------------------	--

4 事務事業の実績 ⑩ ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度					
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量				
事務事業を構成する主な業務	① 健康づくり推進協議会の開催	1回	① 健康づくり推進協議会の開催	1回	① 健康づくり推進協議会の開催	3回				
	② 生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催	1回	② 生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催	1回	② 生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催	1回				
	③ 食生活改善推進員連絡協議会事務局事業		③ 食生活改善推進員養成講座の開催	5回	③ 食生活改善推進員養成講座の開催	5回				
	④ 食生活改善推進員総会及び役員会の開催	3回	④ 食生活改善推進員連絡協議会事務局事業		④ 食生活改善推進員連絡協議会事務局事業					
	⑤ 食生活改善推進員中央研修会・移動研修会の開催	2回	⑤ 食生活改善推進員総会及び役員会の開催	4回	⑤ 食生活改善推進員総会及び役員会の開催	4回				
	⑥ 食生活改善推進員事業(男性の料理教室年10回・キッズクッキング年3回)開催における指導	12回	⑥ 食生活改善推進員中央研修会・移動研修会の開催	7回	⑥ 食生活改善推進員中央研修会及び移動研修会の開催	7回				
	⑦ 管内食生活改善推進員連絡協議会に係る事業	4回	⑦ 食生活改善推進員事業(男性の料理教室年10回・キッズクッキング年3回)開催における指導	13回	⑦ 食生活改善推進員事業(男性の料理教室年10回・キッズクッキング年3回)開催における指導	13回				
	⑧		⑧ 管内食生活改善推進員連絡協議会事務局事業	4回	⑧ 管内食生活改善推進員連絡協議会事務局事業及び係る事業	4回				
	⑨		⑨ 管内食生活改善推進員連絡協議会に係る事業		⑨ 健康プランじょうそう策定に係る市民アンケートの実施	3062通				
	⑩		⑩		⑩ 健康プランじょうそう中間評価・後期計画策定に係る関係課との連携	10課				
	⑪		⑪		⑪ 健康プランじょうそう中間評価及び後期計画の策定	200部				
目標値に対する実績値		67 %	目標値に対する実績値		61 %	目標値に対する実績値		70 %		
決算額	計	445,588 円	内訳	特定財源	円	計	456,030 円	内訳	特定財源	円
				一般財源	445,588 円				一般財源	456,030 円
(住民一人あたりの行政コスト)		7 円	(住民一人あたりの行政コスト)		7 円	(住民一人あたりの行政コスト)		8 円		

5 担当者評価 ⑪ ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標未達成	成果内容	食生活改善推進員養成講座を17名が受講した。平成30年度の会員数が72名となり、前年度より2名増員となった。
問題点			平成29年度の食生活改善推進員養成講座を受講した17名の内、平成30年度に会員になった者は12名で、会員にならなかった5名の辞退理由は、家庭内の事情や講座終了後の就労などがあげられた。就労していても食生活改善推進員として活動できる事業内容の検討が必要。

6 担当部長及び担当課長評価 ⑫ ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

茨城県の委託事業をはじめ、常総市の事業への協力や自主事業を通じ、「食育アドバイザー」として子供から高齢者に至るまでの幅広い食育活動を担う、食生活改善推進員の養成と活動の推進は、地域において生活習慣病予防を普及するうえで必要である。

7 実施計画 ⑬ ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり推進協議会の開催(1回予定) ●生活習慣病予防対策推進事業における講演会の開催(1回予定) ●食生活改善推進員養成講座の開催(1コース5回) ●食生活改善推進員の事務局及び、活動の支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導・支援 ・キッズクッキング開催の指導・支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ●市栄養士が栄養教室(3回実施)を開催し、食育や食生活改善を市民へ周知 <ul style="list-style-type: none"> ・教室開催時、食生活改善推進員にも協力をえる 		<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ●生活習慣病予防対策推進事業負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催 ●食生活改善推進員連絡協議会補助金 ●食生活改善推進員養成講座の開催(1コース5回) ●食生活改善推進員の事務局及び、活動の支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導・支援 ・キッズクッキング開催の指導・支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ●市栄養士が栄養教室を開催し、食育や食生活改善を市民へ周知(2回2コース予定) <ul style="list-style-type: none"> ・教室開催時、食生活改善推進員にも協力をえる ・調理実習代 ●健康に関する情報をリーフレットで全戸配布 		<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり推進協議会の開催 協議会委員報酬費 ●生活習慣病予防対策推進事業負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催 ●食生活改善推進員連絡協議会補助金 ●食生活改善推進員養成講座の開催(1コース5回) <ul style="list-style-type: none"> ・養成カリキュラム内の「身体活動・運動」の講師を運動指導士に依頼 ●食生活改善推進員の事務局及び、活動の支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・総会・役員会・研修会・移動研修会 ・男性の料理教室開催の指導・支援 ・キッズクッキング開催の指導・支援 ・イベント参加の支援(ふるさと祭り等) ●市栄養士が栄養教室を開催し、食育や食生活改善を市民へ周知(2回2コース予定) <ul style="list-style-type: none"> ・教室開催時、食生活改善推進員にも協力をえる ・調理実習代 ●健康に関する情報をリーフレットで全戸配布 				
	予算額	ま	計	535 千円	歳出	計	534 千円	歳出	計
歳入		特定財源	千円		特定財源	千円		特定財源	千円
		一般財源	535 千円		一般財源	534 千円		一般財源	596 千円
		計	535 千円		計	534 千円		計	596 千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。食生活改善推進員養成講座の受講生も高齢化してきているので、高齢者にふさわしい食生活について講演していただきたい。一人世帯が増加している昨今、当該事業の必要性は高いと考えられる。ただし、年々手作り食の減少が顕著なので、歯止めをかけるためにも工夫するべきである。

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑭ ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

本事業は、生活習慣病対策及び食育に関する知識の普及活動を通して健康づくりを推進する事業である。引き続き事業を継続するものとするが、事業推進するに当たっては、創意工夫を凝らした施策を展開していただきたい。

11 事務事業の改善理由 ⑮

食生活改善推進員の活動内容について事務局と協議し、各ライフステージごとの食育推進を図っていききたい。特に常総市の死因別疾患等をみると、循環器疾患や胃がんが多く、塩分や野菜の摂取の改善により減少できるので、なお一層の市民への周知啓発を展開していきたい。